

古代から人々が暮らすまち

お日さまと水に近い 早宮へ...

氷川台、平和台、豊島園の3駅に囲まれた早宮。
地区の南側には石神井川に面した日当たりのよい斜面があり、
坂を上がると平坦な土地が広がっています。
まちを歩けば、新しい家も、時を経た趣きのある家もあり、
様々な世代の暮らしが見えてきます。



ねりまみどりのまちづくり情報誌

第67号
平成31(2019)年
2月

K O M O R E B I

<http://nerimachi.jp/>

発行 公益財団法人 練馬区環境まちづくり公社
みどりのまちづくりセンター

懐かしい風景と 新しいまちなみがとけあう



川沿いの斜面を 上る坂

練馬総合運動場(旧中央
大学グラウンド)側から、
急な坂をあがる。



トーカン山 からの景色

この山から川を挟んで、向
かい側に練馬城があったと
いう場所がある。太田道灌
が練馬城を攻撃するとき、
指揮をしたところだと言わ
れる。



昭和の風情がある 庭

柑橘類や柿、ミョウガやフ
キ、菜園がある庭の風景
は、どこか懐かしい。新し
い住宅を背景に、ホッとす
る空間になっている。

蛇行した路地

石神井川と並行してくねく
ねとした細い道が続き、昔
の川の蛇行を思わせる。
その道の脇は南傾斜になっ
たり、切通しの道になって
いたり散歩が楽しい。



道沿いの貸景*

蛇行した路地を、氷川台
駅の方に向かう。道沿いの、
家々の「みどりのおもてな
し」が魅力的。

※貸景(かしけい)とは、借
景の反対の意味の造語。
まちの景色に、個人のお宅
のしつらえなどで彩りを添
えること。

*景観まちづくり研究会
「貸景のすすめ」より

古代の景色を 想像させる 高台

早宮史跡公園周辺の台地
から、石神井川をはさんで
高稲荷神社の森を望む。
石神井川北側の早宮1・3
丁目のあたりは「早淵」と
呼ばれていた。

早宮の地形

石神井川に架かる大橋あたりから高稲荷にか
けて、両岸がせり出し、川が瀬となって水の流
れが速かったことから、その付近の左岸(早宮1、
3丁目)を昔から早淵(はやぶち)前といってい
ました。また、中之橋の北側に石神井川に突き
出している谷戸のことを宮ヶ谷戸(みやがいと)、
その東にもう1つ、石神井川に突き出す台地を
トーカン山と呼んでいました。

「早宮」という地名は、かつて仲町の一部だ
ったところが、昭和40(1965)年に、今の住居表
示となって誕生したもので、この地域の古い地
名である早淵の「早」と、宮ヶ谷戸の「宮」をと
って合わせたものです。



「ねりまマップ」陰影図に加筆

古代から住まいに適した地域 遺跡が出土する、早宮

開進第一中学校の南部、石神井川に向かって張り
出した台地上(早宮1-18、24~27)に所在する東
早淵遺跡は古代~平安時代にわたる遺跡です。石
神井川が台地の縁辺を流れながら、現在よりも細かな
蛇行を繰り返していたと思われ、古代の人々が生活
するための、水や食料の得やすい環境が提供されて
いたのでしょうか。小中
学校の児童・生徒と
ともに発掘調査が行
われ、今は早宮史跡
公園として地域にと
ってなじみ深い公園に
なっています。



平成2年に旧石器時代の土層から
出土した。区内で最も古い石器です。